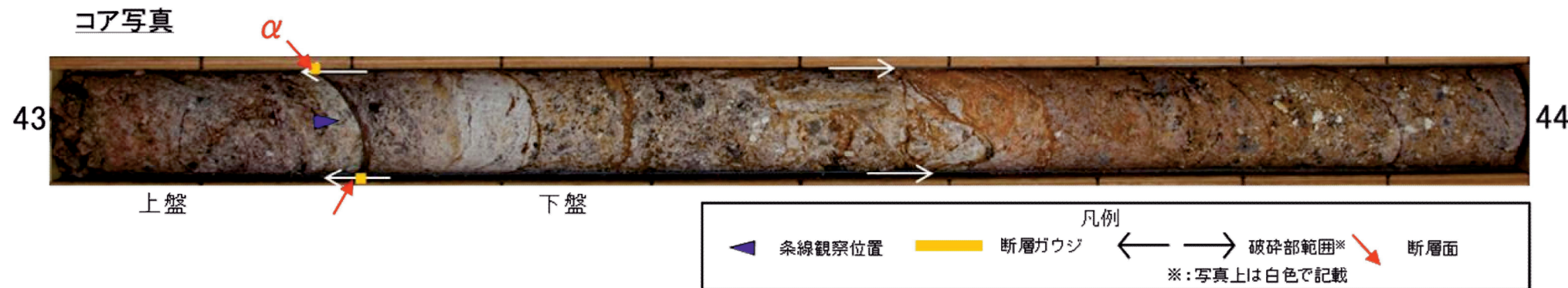
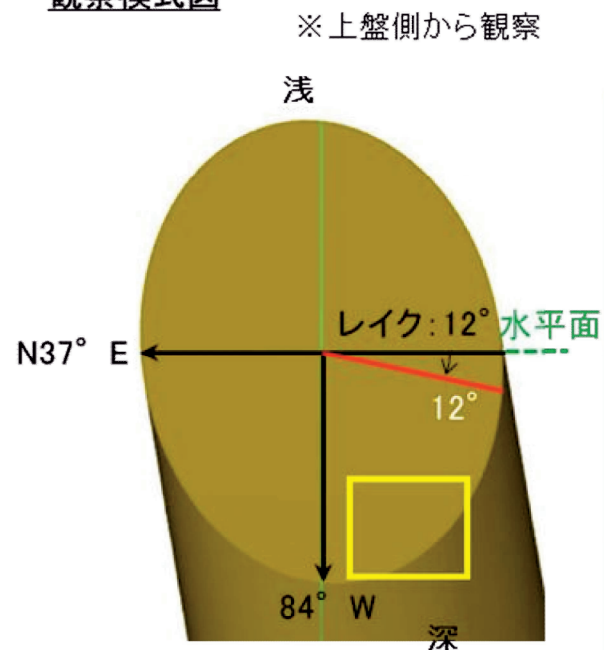


H24-B14-1深度43.19~43.62m 走向・傾斜 (No.157-追3) の変更に伴い, 条線 (No.157-追4) を変更

- 断層面αの走向・傾斜はN37°E 84°Wであり, 12Rの条線が認められる。



観察模式図



・前頁の図3に, 計測した条線値を走向・傾斜等を用いて補正したレイクを赤線で表示している。

条線観察位置拡大



赤枠内拡大

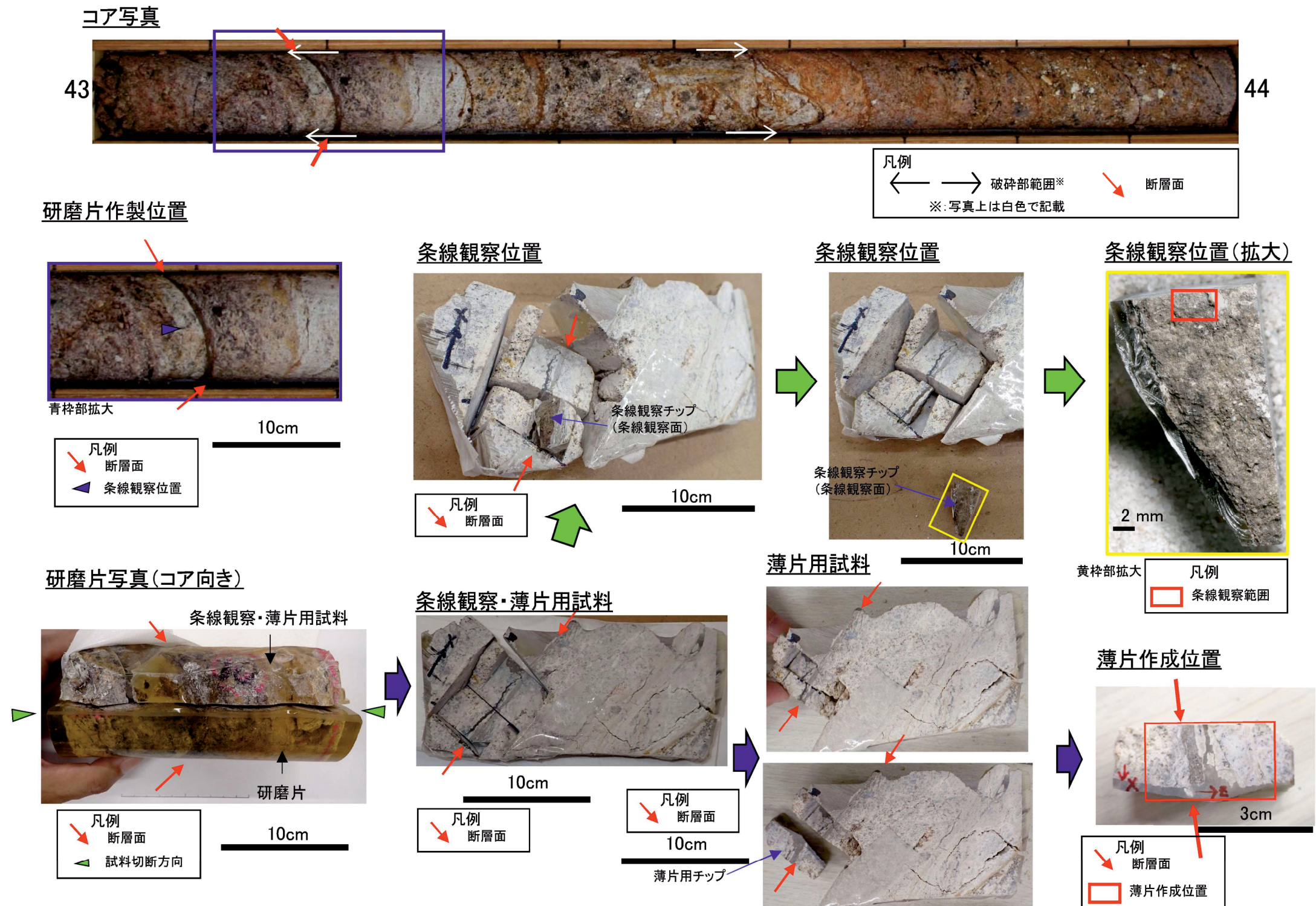


凡例
→ ← 条線方向

図4 最新活動面と走向・傾斜, 条線の関係図

H24-B14-1深度43.19~43.62m 走向・傾斜 (No.157-追3) の変更に伴い, 条線 (No.157-追4) を変更

- 条線観察位置を残試料より復元し断層面aの位置 (深度43.21m) で計測していることを確認した。



K断層の連続性評価に関するデータトレーサビリティの確保に伴う再評価箇所一覧表

| No. | 対象破砕部 | | | 変更, 修正前の資料 | | 変更, 修正の内容 | | 変更, 修正理由 | 分類 | エビデンス資料 | 記載頁 |
|--------|-----------|--------|--------|---|---|---|-------------------|--|-----|---------|----------|
| | 確認箇所 | 上端深度 | 下端深度 | 性状一覧表 (第833回審査会 合資料 机上配 布資料2) | 薄片観察結果 (第833回審査会 合資料 机上配 布資料1) | 前 | 後 | | | | |
| 51 | H27-B-1 | 75.57 | 76.00 | ● | | 破砕帯名 非モデル化 | 破砕帯名 f-d1-1-11 | 変更したH27-B-1孔(深度75.57~76.00m)の破砕部を起点として、隣接するH24-D1-1孔(北側)とH27-B-2孔(南側)で確認した破砕部との連続性を検討した。 敷地の破砕帯の連続性評価基準に基づき検討した結果、H24-D1-1孔の深度91.26~91.52mの破砕部のみと連続し、H27-B-2孔の破砕部とは連続しないと評価した。 よって、破砕帯名は非モデル化破砕帯(分布図に記載しない破砕帯)からf-d1-1-11に変更となる。 | 再評価 | 連続性評価結果 | 添1 - 335 |
| 76 | H27-B-2 | 128.82 | 128.97 | ● | | 破砕帯名 D-44 | 破砕帯名 f-b-2-18 | H24-B14-2の49.24~49.55mの破砕部のデータの変更に伴い、破砕部の連続性評価を行った結果、本破砕部と連続しないと評価したため、破砕帯名が変更となる。 | 再評価 | 連続性評価結果 | 添1 - 338 |
| 85 | H24-B14-2 | 49.24 | 49.55 | ● | | 破砕帯名 D-44 | 破砕帯名 f-b14-2-4 | No.82~84の変更後のデータを用いて周囲のボーリング孔で確認した破砕部との連続性を再検討した結果、D-44破砕帯ではなくf-B14-2-4破砕帯とすることが適切であると評価した。 なお、当該破砕部については、補正書作成に伴い検討対象に追加したH29-ReB14-2孔のデータにより、非モデル化破砕帯となった。 | 再評価 | 連続性評価結果 | 添1 - 341 |
| 87 | H24-B14-2 | 101.47 | 101.52 | ● | | 破砕帯名 f-b14-2-6 | 破砕帯名 非モデル化 | D-44破砕帯の分布変更(No.76,85)に伴い、破砕帯の分布を再検討した結果、当該破砕部を非モデル化破砕帯と評価した。 | 再評価 | 連続性評価結果 | 添1 - 344 |
| 122 | H27-B-3 | 76.59 | 76.89 | ● | | 破砕帯名 H-3c | 破砕帯名 非モデル化 | No.119~121の変更に伴い、破砕部の連続性を再評価したところ、試掘坑で確認した破砕帯と連続しないこと及び近傍の調査ボーリングで確認した破砕部と連続しないことから、破砕帯名を非モデル化に変更する。 | 再評価 | 連続性評価結果 | 添1 - 347 |
| 157 | 平面図・断面図 | | | 第833回審査会合資料 (資料1) 令和3年7月16日提出資料 (本編資料) | | 各データ修正内容の反映 (K断層の性状, K断層南方調査位置図, K断層南方調査結果平面図, K断層南方調査結果断面図) | | 各破砕部のデータの変更, 修正等に伴い、平面図・断面図が変更となる。 | 再評価 | - | 添1 - 350 |
| 157-追5 | H27-B-3 | 26.70 | 26.90 | ● | | 破砕帯名 非モデル化 | 破砕帯名 f-r-1-1 | 評価対象ボーリングに追加したH31-R-1孔の破砕部と連続すると評価したため、破砕帯名を変更した。 | 再評価 | 連続性評価結果 | 添1 - 364 |
| 157-追6 | H27-B-3 | 56.69 | 56.72 | ● | | 破砕帯名 非モデル化 | 破砕帯名 f-r-1-2 | 評価対象ボーリングに追加したH31-R-1孔の破砕部と連続すると評価したため、破砕帯名を変更した。 | 再評価 | 連続性評価結果 | 添1 - 367 |

1. 変更内容、理由及び断層連続性評価への影響

・破砕帯名をf-d1-1-11に変更 (No.51)

【理由】走向・傾斜 (No.48) 、条線方向 (No.49) 、変位センス (No.50) の見直しに伴い、破砕部の連続性を再評価した結果、f-d1-1-11破砕帯に連続することとなったことによる

【断層連続性評価への影響】あり

2. 変更箇所

a 破砕帯名を「f-d1-1-11」に変更 (No.51)